



学年人権意見発表会にて

6/13(火)に学年人権意見発表会が行われました。いくつか心に残ったキーワードを紹介します。[挑戦する人たちは素敵/自分の価値観を相手に押しつけない/自分の弱い心に負けないように/わかっているのに決めつけていた/自分の持っている心が偏見ではないのか/自分が伝えることで世界は広がる/軽い気持ちで言ったことは一生消えない/正直に言う/自分には関係ないと思っていた/聞く、理解すること/自分の意志が行動を決める]など自分自身を見つめ問い、その中から生まれてきた言葉はどれも力強いものがありました。何より、周りのみなさんのしっかりと聴く姿勢こそが、発表者に自分を語る勇氣と信頼を届けたのだと感じました。



北部Aブロック総体にて

北部Aブロック総体が6/10(土)から2週にわたって行われました。男子のチームの試合中、ハーフタイムに観客から聞こえてきた校歌を歌う女子チームの歌声に思わず涙が出て、藍中を大切に思う気持ちが伝わってきました。ある競技では、試合前に「1回戦は決勝戦!」とチームで合い言葉として初戦に臨んでいました。他の競技では、個人戦の決勝戦で、男女全員が一丸となって「もう一本!もう一本!もう一本!」と声援を送りチームの一体感を感じました。また、「千羽鶴を2年生が織ってくれました。」と色が整えられ、美しい心のこもった千羽鶴。手製のキーホルダーもあり、3年生のことを大切に思う気持ちが伝わってきました。そして何より、子どもたちを支える保護者の方々の献身的な姿勢に、尊いものを感じずにはいられませんでした。



ユニクロ“届けよう服のチカラ”プロジェクトにて

昨年度に引き続き、ユニクロ“届けよう服のチカラ”プロジェクトが6/20(火)の放課後に生徒会本部役員を中心に行われました。今回は町内の店舗から来校され、会の前に校長室で次のようなお話を伺うことができました。会社として大切にしていることは「向上心」で、マインド(心)が一番重要視されるそうです。また現在、世界的な企業として成長しているポイントについて尋ねると、「現物・現場・現実主義」をモットーとして目の前のお客さんを最も大切にし、お客さんの声を直接本部にフィードバックできるような仕組みをつくり、常にアップデートすることで、20年前と比べてもお客さんと会社が近づけたそうです。店内においては、「ウォッチング」を心がけ、自分の経験に照らし合わせてお客さんにどのようなニーズがあるかを見極めた上で、声かけをするそうです。そして、そこで得た情報を同じ店員同士で共有する必要があるため、コミュニケーション力が欠かせないと伺いました。今、社会でどんなことが大切なのかを知ることのできた貴重な機会でした。

「ポジティブな行動支援」PR動画撮影

7/10(月)の6校時、徳島県教育委員会による「ポジティブな行動支援」PR動画撮影が生徒会専門委員会の時間に行われました。この動画は今後、教職員の研修の場で多く活用されるそうです。プロの撮影スタッフと共に来校され、話合いの様子のみならず、部活動の様子や掲示物、校舎の風景なども撮影されていました。生徒のみなさんが自分たちで考え企画し、運営する「わくわく活動」など、今や藍住中学校生徒会の取組は、県内で大きく注目されるまでになったことを誇らしく思います。

